

令和7年度 第2回 大阪市立北中道小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立北中道小学校

校 園 長 名 矢 寺 勝 彦

日 時	令和7年12月2日（火） 午後4時～午後5時	
場 所	大阪市立北中道小学校 校長室	
出席者	委員 など	7名
	校 園	3名
	区役所	1名（東成区役所市民協働課）
議 題	(1) 令和7年度「運営に関する計画」中間評価について (2) 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○令和7年度年度運営に関する計画 中間評価について報告し、了承を得た。	○北中スタディ（自主学習）について 自主学習の取り組みについて、個に応じた取り組みを進めている。また、頑張ったことへの表彰をしていただけていることは、子どもたちのやる気につながっている。継続して取り組みを続けてほしい。 ○タブレットの運用について 今後の教育の方向性として、個別最適な学び、調べ学習などを進めるツールとして、タブレットの活用は必要になってくる。しかし、今までの教育で大切にしてきた、気持ちを書いて伝えることなどの根幹の部分も大切にしながら学習を進めてほしい。 タブレットの持ち帰りの運用の仕方について、安全に持ち帰りができるように配慮をしてほしい。 ○伝え合う力の育成について ペアトークやグループトークで自信をつけ、様々な意見が認められる雰囲気の中で、全体で話し合い、共に学びながら自尊感情が高められる実践になるようにしてほしい。 研究教科の算数科においては、学ぶ過程をしっかりと伝え合う実践を進めてほしい。 ○教育の方向性について 管理することも必要だが、実体験を伴う実践や専門的に指導する力を高めて、子どもたちの力を伸ばしてほしい。
	(2) ○令和7年度全国学力・学習状況調査について報告し、了承を得た。	○平均正答率は全体であがっている。また、平均無答率は下がっている。3年間の国語科の研究の取り組みや日々の実践が結果へとつながっている。 ○「自分によいところがあると思いますか」や「将来の夢や目標を持っていますか」についての質問について、経年で見れば改善している部分もあるが、よりよくなるように取り組みを継続してほしい。 ○本校のタブレットの活用率は、全国、大阪市の数値よりも低くなっている。今までの教育で大切にきた学力の部分と今後の子どもたちにつけていかなければいけない学力の部分とをバランスをとって教育活動を進めてほしい。
協議資料	○運営に関する計画中間評価 ○令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について	
備考	傍聴者[0]名	